

社会学研究室スタッフ業績一覧（2011年度）

五十嵐 泰正

【雑誌論文】

1. 「安易な「労働開国」では低生産性から抜け出せない」『週刊エコノミスト』4月19日特大号，毎日新聞社，2011年4月，50～53ページ。
2. 「「土地に縛り付けられている人々」と「旅行者」——震災があらわにした^{モビリティ}可動性という分断線」『移民・ディアスポラ研究2 東日本大震災と外国人』明石書店，2012年2月予定，75～86ページ。
3. 「多文化都市におけるセキュリティとコミュニティ形成」『社会学評論』62(4)，2012年3月予定。

【書評】

1. 「塩原良和著『変革する多文化主義へーオーストラリアからの展望』」『三田社会学』第16号，2011年7月，144～146ページ。

【事典項目執筆】

1. 「第3の空間」「空間とネットワーク」地域社会学会編『キーワード地域社会学』ハーベスト社，2011年5月，158～159，164～165ページ。

【インタビュー】

1. 「ホットスポットとよばれた地域がつくる「安心」とは(前編)」『a SYNODOS』vol. 94，2012年2月15日。
2. 「ホットスポットとよばれた地域がつくる「安心」とは(後編)」『a SYNODOS』vol. 96，2012年3月15日予定。

【学会口頭報告，講演など】

1. 「犯罪・災害を前にした^{モビリティ}可動性という分断線」『テーマ部会 犯罪・災害リスクとコミュニティ』日本都市社会学会第29回大会，新潟大学，2011年9月。
2. 「コメント」『シンポジウム 東日本大震災と日本社会』筑波社会学会第23回大会，筑波大学東京キャンパス，2011年10月。
3. 「3.11後の柏農業へのご提案——「安全・安心の柏産柏消」円卓会議の取り組みから」(株)アグリプラス農業者研修会，さわやかちば県民プラザ，2011年11月。
4. 「ホットスポットで生活する，ということとは？」柏市国際交流協会セミナー，京北ホール，2012年2月。

土井 隆義

【著書・編書】

1. 『〈若者の現在〉政治』(小谷敏・芳賀学・浅野智彦との共編) 日本図書センター, 2011年5月
2. 『少年犯罪〈減少〉のパラドクス』岩波書店, 2012年3月
3. 『〈若者の現在〉文化』(小谷敏・芳賀学・浅野智彦との共編) 日本図書センター, 2012年3月

【編書論文】

1. 「青少年のケータイ・コミュニケーションー常時接続される人間関係の光と影ー」内閣府政策統括官編『平成22年度・青少年育成のための地域連携推進事業報告書』内閣府, 186~199頁, 2011年4月
2. 「脱暴力化する青少年のメンタリティーー今日の少年非行の動向を考えるー」内閣府政策統括官編『平成22年度・青少年育成のための地域連携推進事業報告書』内閣府, 200~218頁, 2011年4月
3. 「キャラ化する政治意識の行方ー素人っぽさの時代の国政選挙ー」小谷敏・土井隆義・芳賀学・浅野智彦編『〈若者の現在〉政治』日本図書センター, 第3章, 95~127頁, 2011年5月

【雑誌論文】

1. 「『再埋め込み』の時代ー生活満足度の高さが意味するものー」『社会学ジャーナル』第37号, 2012年3月

【その他】

1. 「小国・土井のここが問題ー目立つことへの強烈的な恐怖ー」『青少年問題』, 第642号, 48~51頁, 2011年4月
2. 「犯罪責任の所在と安全な社会」『青少年問題』第642号, 60頁, 2011年4月
3. 「ケータイ・ネット・いじめ」汐見稔幸ほか編『よくわかる教育原理』, 234~235頁, ミネルヴァ書房, 2011年4月
4. 「ニコ動ユーザー暴走の裏にある素人優位社会の危険性」『サイゾー』, 124頁, 2011年5月
5. 「SAVE IBARAKIー機能停止の大学で学生が起こした奇跡ー」『今こそ, 学問の話をしよう』, 河合塾, 2011年6月
6. 「刑政時評: 「鐘の鳴る丘」コンサート」『刑政』第122巻第7号, 44~45頁号, 2011年7月
7. 「マニフェスト型政治の盲点」『北海道新聞』夕刊, 2011年7月2日
8. 「『日本は一つ』の光と影」『北海道新聞』夕刊, 2011年9月3日
9. 「小国・土井のここが問題ー匿名文化の光と影ー」『青少年問題』, 第644号, 52

～55頁, 2011年10月

10. 「コミュニケーション至上主義の時代-つながることに安心感を求める現代人-」『広告会議』, 第34号, 76～77頁, 2011年11月
11. 「刑政時評: タイガーマスクと, だてマスク」『刑政』第122巻第11号, 56～57頁, 2011年11月
12. 「少年犯罪の減少-希望なき社会を反映?-」『北海道新聞』, 9面, 2011年11月25日
13. 「かけがえのない関係とは-偶然性と多様性をめぐって-」『アンジャリ』第22号, 8～11頁, 2011年12月
14. 「震災復興下の自殺対策」『北海道新聞』, 9面, 2012年2月24日
15. 「刑政時評: 再非行少年率の高さが語るもの」『刑政』第123巻第3号, 2012年3月

野上 元

【著書】

1. (分担執筆) 藤村正之編『命とライフコースの社会学』弘文堂, 2011年11月 (第14章「戦争体験の社会史」 p196-209)
2. (共編著) 野上元・福岡良明編『戦争社会学ブックガイド 現代世界を読み解く132冊』創元社, 2012年3月

【報告書】

1. 「大霞会の研究-内務省の『戦後史』」副田義也編『戦後日本における内政体制の研究』(科研費基盤A報告書, 2012年2月)

【その他】

1. (書評)「書評 成田龍一『戦争経験』の戦後史-語られた体験/証言/記憶」岩波書店『日本歴史』(日本歴史学会) 2011年6月(757号), p129-131
2. (コメント)「戦争体験継承リレー 終戦から66年目の夏」『朝日新聞』2011年8月11日(第2長野面)
3. (研究動向)「テーマ別研究動向(戦争・記憶・メディア)-課題設定の時代被拘束性を越えられるか?」『社会学評論』62巻2号, 2011年, p236-246

【報告・講演】

1. 「座談会 保冨実の歴史学をいかに受けつぐのか?」北海道大学アイヌ・先住民研究センター主催『保冨実写真展 カントリーに呼ばれて ～オーストラリア・アボリジニ とラディカル・オーラルヒストリー～』2011年4月16日, 北海道大学総合博物館
2. 「<核>のない教室-軍事的啓蒙としての「機動戦士ガンダム」」第39回文化

社会学研究会，2011年7月2日，早稲田大学戸山キャンパス

黄 順姫

【原著論文】

1. 「新韓流・ニューメディア・若者」『学習たより』日本理容美容教育センター，171号，2012年，12-16頁。
2. 「新韓流の文化社会学－韓国大衆文化の日本的遊び方の構造と実践－」『社会学ジャーナル』第37号，2012年，1-20頁。

【学会発表要旨録】

1. 「日本の学校・大学の社会的資本・安心資本としての同窓会－母校をサポートする同窓会・同窓生，学校・大学の関係構造変容－」シンポジウム「日本の大学と社会：大学生文化，同窓会，地域社会」，『2011年度，韓国日本教育学会春期大会発表要旨録』2011年，13-21頁。
2. 「東日本大震災にみられる日本社会の構造強化と変動－集団主義・個人主義社会の再帰的構築とメディア－」，『韓国日本学会第84回大会発表要旨』，2012年，XXV111。

【その他】

1. 「拡大する『新韓流』」筑波大学新聞，2011年，9月5日，4面
2. 「コーディネート，司会」『シンポジウム 東日本大震災と日本社会』筑波社会学会第23回大会，筑波大学東京キャンパス，2011年10月29日

【国際学会研究活動】

1. 「日本の学校・大学の社会的資本・安心資本としての同窓会－母校をサポートする同窓会・同窓生，学校・大学の関係構造変容－」，シンポジウム「日本の大学と社会：大学生文化，同窓会，地域社会」，2011年度，韓国日本教育学会春期大会，2011年5月21日，ソウル教育大学（韓国）
2. 「日本の大地震・原発事故における危機管理の社会的特性－社会的構造・個人的実践・メディア－」講演会，2011年5月23日，ソウル市立大学（韓国）
3. 「東日本大震災にみられる日本社会の構造強化と変動－集団主義・個人主義社会の再帰的構築とメディア－」，基調講演，韓国日本学会第84回大会，2012年2月4日，同徳女子大学校（韓国）

森 直人

【編書論文】

1. 「個性化教育の可能性：愛知県東浦町の教育実践の系譜から」宮寺晃夫（編）『再検討 教育機会の平等』岩波書店，115～146頁，2011年8月（単著）。

【研究報告・鼎談】

1. 「『福祉国家と教育』をめぐる論点メモ」比較教育社会史研究会2011年夏季例会，関西学院大学，2011年8月2日。
2. 「大衆教育社会と／の教育改革：『教育と平等』をめくって」『社会理論・社会構想と教育システム設計』プログラム・第2セッション，越後湯沢高半，2011年8月27日。
3. (鼎談)「再生産論の観点から」『(研究課題)個性を生かし，共に成長しようとする人間の育成：「個性」に応じる学習活動の創造』愛知県東浦町立石浜西小学校・拡大現職全体会，2012年1月23日。
4. 「『福祉国家』構想と〈授産〉の歴史的布置：教育機会と生存保障のはざままで」比較教育社会史研究会2012年春季例会，慶応大学，2012年3月11日。

好井 裕明

【論文】

1. 「障害者表象をめぐる“新たな自然さ”を獲得するために」(単著)荻野昌弘編著『文化・メディアが生み出す排除と解放』明石書店，2011年7月30日，139-170頁
2. 「カテゴリー化を今一度見直す——他者と繋がるために」(単著)『理論と動態』第4号，社会理論・動態研究所，2011年12月10日，77-95頁
3. 「エスノメソドロジー—民俗学とエスノメソドロジーの接点とは？」(単著)山泰幸・足立重和編著『現代文化のフィールドワーク入門』ミネルヴァ書房，2012年1月，223-244頁

【書評・コラム・エッセー】

1. 書評「荒井裕樹『障害と文学』」(2000字)，『図書新聞』第3012号，2011年4月30日
2. 書評「山田富秋『フィールドワークのアポリア』」(2000字)，『図書新聞』第3021号，2011年7月9日
3. コラム「くまさんの本の森^⑨：「生存学」という知的実践——障老病異と共に暮らす世界の創造」(3000字)，『そよ風のように街に出よう』第81号，りぼん社，2011年7月25日，66-67頁
4. エッセー「差別論を読むための10冊——部落問題を中心に」(17枚)，『部落解放』第650号，解放出版社，2011年8月，4-11頁
5. 書評「日本人類学会監修『フィールドワーカーズ・ハンドブック』」(2000字)『図書新聞』第3034号，2011年10月15日

大学院生（社会学分野）業績一覧（2011年度）

後藤 美緒

【論文】

1. 「戦間期の学生の読書実践——東京帝大新人会の共同性の模索」『社会学評論』(62) 1 : 51-67.

【書評論文】

1. 「『〈住宅〉の歴史社会学——日常生活をめぐる啓蒙・動員・産業』」『年報筑波社会学』（3・4合併号）：85-90.

【学会報告】

1. 「『東京帝国大学セツルメント医療部に見る戦前の社会事業』 関東社会学会第59回大会，自由報告部会，明治大学，2011年6月18日.

楠田 恵美

【学会報告】

1. 「モダン都市東京の盛り場と噴水の想像力」『関東社会学会第59回大会』自由報告部会，明治大学，2011年6月.

【論文】

1. 「モダン都市東京の噴水」『社会学ジャーナル』第36号，43-57頁.

赤羽 由起夫

【学会報告】

1. “Should School Be Responsible for Crime that Occurred in a School Setting?: Comparative Study of the News Reports on the Two Famous Murder Cases in Japan”, 16th World Congress of the International Society for Criminology, Session by JFCA Member Organization, “Consideration of Openness and Security for Children in the School Property”, Kobe International Conference Center, 5 August 2011.
2. 「境界と犯罪不安の関係——リスク社会化は犯罪不安を増大させるのか」日本犯罪社会学会第37回大会，テーマセッションC「犯罪不安とリスク社会」，立命館大学衣笠キャンパス，2011年10月22日.

富井 久義

【学会報告】

1. 「社会福祉運動における構成員の意味構築」，第59回関東社会学会大会，第3

部会第3報告，東京：明治大学，2011年6月

高橋 航

【新聞記事】

1. 「私が見た居場所」『Fonte（フォンテ）No321』，NPO法人全国不登校新聞社2面，2011年9月1日